

【学習課題】ディベートにチャレンジ！話し合い名人になろう

めあて

筆者の述べ方の工夫（技）を読み取る

インスタント食品とわたしたちの生活

「インスタント食品とわたしたちの生活」の段落の本文を提示します。

「一つ目は」
児童がワークシートで一人学びした後、ここに書き込みをしながら全体で確認するようにします。

「二つ目は」

「三つ目は」

《分かりやすくするための筆者の工夫》

主張 理由・根きよ まとめ

根きよは具体例をあげて

順序を表す言葉や接続語を使って

立論ろんの述べ方

4/12時間目 指導略案 ワークシート 教材全文ワークシート
 (著作権の関係で提供していません。)
 活動のねらい

「インスタント食品と私たちの生活」を読み、筆者の述べ方の工夫について読み取り、立論の書き方を知ることができるようにする。

1 教材文「インスタント食品と私たちの生活」を読む。

2 筆者の述べ方の工夫について考える。

【発問】筆者は、読み手を説得するために、どんな述べ方の工夫をしているでしょう。ワークシートの文中の「意見」「理由や根拠」「具体例」にマーキングする。マーキングしたことで気付いたことを話し合い、筆者の工夫についてまとめる。全文ワークシートを使って、「インスタント食品の良さ」について書かれた箇所についても同じような工夫が見られるか調べる。

(分かりやすくする筆者の工夫)

- ・ 「主張」「理由や根拠」「まとめ」の順に述べている
 - ・ 根拠には、具体例をあげて詳しく説明している
 - ・ 順序を表す言葉や接続語を使って述べている
- 述べ方を工夫することは、自分の考えを分かりやすくしたり、説得力を増したりすることを確認する。
- 筆者の工夫を生かして、立論を書くことが望ましいことを確認する。

3 「インスタント食品を積極的に取り入れるべきである」という論題について、教材文から得た情報を基に自分の立論を書く。

自分の立場を明らかにさせ、その根拠となる事例を教材文から取り出し、「主張」「理由や根拠」「まとめ」の順で書かせる。

児童の実態によって、理由や根拠の数はいくつでもよいが、二つ以上取り入れる児童には、「順序を表す言葉」「接続語」を使って表現できているかを確認させる。

評価 筆者の述べ方の工夫を読み取り、工夫を生かして自分の考えを立論に書いている。

4 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。
 次時は、他の情報を読み取り、自分の考えをさらに明らかにすることを確認する。